

平成 22 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	19	自然と共生する、住みよいまちをつくる	評価責任者 (基本施策主管課長)	環境政策課長 山下 豊
-------	----	--------------------	---------------------	----------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系		基本目標 快 適
政 策		自然と共生するうまいあるまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>意識調査からは、「満足度を持つ人」は70.7%と非常に高い数字となっており自然豊かな伊賀市においての生活環境での評価は高い。今後も、同様の方向で事業を進めるべきと考える。</p>
③	基本施策の現状と課題	定期的な水質検査や悪臭検査、騒音、振動の他に苦情処理を行なっている。苦情件数が増加しており苦情の出ない対策が課題である。
④	基本施策の意図、今後の展望	各種測定等を実施し環境を監視するとともに、異常等の早期発見に取り組む。

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		重点化
各種測定における異常時等の早期発見		環境基準達成率		1
苦情の出ない対策		公害苦情発生件数		2

基本施策指標名	単 位	過年度実績		評価年度			目標値	ベンチマーク	指標の説明
		H20	H21	H22	H25	H30			
1 環境基準達成率	目 標	%	100	100	100	100	100		それぞれの地点で環境基準を満たしているかを判断するため%を指標とした。
	実 績	%	93.3	93.3					
	達成率	%	93.3	93.3					
2 公害苦情発生件数	目 標	件数	100以下	100以下	100以下	100以下	100以下		監視体制の強化を図り苦情を減少するための目安として件数を指標とした。
	実 績	件数	76.9	153					
	達成率	%	#VALUE!	#VALUE!					
	目 標								
	実 績								
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					
	目 標								
	実 績								
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	I D	事 業 名	改善余地の有無	事業費 (人件費込、単位:千円)			重点化
				H21 決算額	H22 予算額	H23 所要額	
1	人権生活環境部 環境政策課	151-3	環境保全活動推進事業	6,471	5,672	4,950	
2	人権生活環境部 環境センター	156	環境保全対策事業	22,490	22,782	22,782	
3	阿山支所 住民福祉課	1029	環境保全対策事業	5,814	3,659	3,659	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
(以下 続紙)							
事業費 合計				34,775	32,113	31,391	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等
各企業での環境分析	企業	法に基づく水質検査等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	自然を守りまた、生活を保障するため企業や市民の意識が必要であり企業も市民も含め関係法令に基づき環境の現況把握を行い公害を未然に防ぐことから環境基準の達成が指標となる。
2 事業構成の適当性 (手段として最適か?)	定期的や苦情時における環境の現況把握が必要でありその目安として環境分析が必要であり手段としては最適である。
3 役割分担の妥当性	企業側としても環境分析が行われている企業と行われていない企業があり行なわれていない企業の水質等の管理指導が必要である。
4 総合評価 (今後の展開、事業の見直し等)	本市は、市民の安全、安心面を考え迅速な対応に心がけるため直営で環境分析を行なっている。今後の展開として公害を未然に防ぐため早期発見、苦情の増加を抑制するためにも市内企業への徹底した指導、また、有効な検査地点となるよう測定地点の見直しなどの実施を図り環境保全に努める。